

- フレコン出荷を拡大することで、生産者の出荷作業の労力軽減がはかられます。
- JAグループでは、フレコン規格を全国統一化し、運送業者・倉庫業者等の業務効率化をはかるため、引き続き、全農統一フレコンの導入拡大をすすめます。
- 8年産までに、原則、備蓄米を除く全ての水田活用米穀の用途について、全農統一フレコンに切り替えます。

【図表：全農統一フレコンの種類・用途別導入計画】

種類・用途	5年産見込	6年産目標	7年産目標	8年産目標
JA米・一般米	5.9万枚	8.4万枚	11万枚	14万枚
水田活用米穀	0.1万枚	1.1万枚	2万枚	3万枚
加工用米				
米粉用米				
輸出用米				
飼料用米				
合計	6万枚 (40%)	9.5万枚 (55%)	13万枚 (75%)	17万枚 (100%)
備蓄米	導入予定無し			

